

被曝者医療の
国際協力
25年の軌跡

CONTENTS

・発刊のご挨拶 放射線被曝者医療国際協力推進協議会会長 平松 恵一

・発刊に寄せて 広島県知事 湯崎 英彦

広島市長 松井 一實

I 放射線被曝者医療国際協力推進協議会(HICARE)25年の歩み	3
1. 発足の経緯	4
2. 事業の展開	7
(1) チェルノブイリ原子力発電所事故を始めとした世界の被ばく者支援	7
(2) セミパラチンスク核実験場と緊急被ばく医療の展開	7
(3) 在外被曝者援護の取組	8
(4) IAEAとの協働事業と福島第一原子力発電所事故対応	9
3. 新たな国際貢献の推進	10
II HICAREの概要	11
1. 組織	12
2. 事業の概要	13
III HICAREの主な活動状況	15
1. 医師等受入研修・派遣事業	16
(1) 医師等受入研修事業	16
(2) 医師等派遣事業	29
2. 普及啓発事業	39
(1) 講演会等	39
(2) 専門書の作成	49
3. 福島原発事故への貢献	52
(1) 事故当時の対応	52
(2) 構成機関による支援	53
4. 広島大学大学院「放射線災害復興を推進するフェニックスリーダー育成プログラム」	54
(1) プログラムの特徴	54
(2) 国際ネットワークの構築とHICAREとの連携	55
5. IAEAとのネットワークの構築	56
(1) 共同研究	57
(2) 普及啓発	60
(3) 人材育成	61
6. これまでの受賞など	66
(1) 保健文化賞	66
(2) 外務大臣表彰	66
(3) 中国文化賞	67
(4) 厚生労働大臣感謝状	68
IV HICARE25周年によせて	69
1. 歴代会長	70
2. 各構成機関	74
3. 関係機関等	81
4. 広島がん高精度放射線治療センター(HIPRAC)	84
5. 研修生派遣元機関	85
6. 協力団体等	90
7. 派遣医学生	94
V 関係資料	97
1. 歴代役員名簿	98
2. 研修生受入実績表・研修生年度別リスト	105
3. 医師等専門家派遣実績表・派遣年度別リスト	122
4. 年度別決算	130
5. 出版物一覧	131
6. 規約	133
VI 活動年表	137